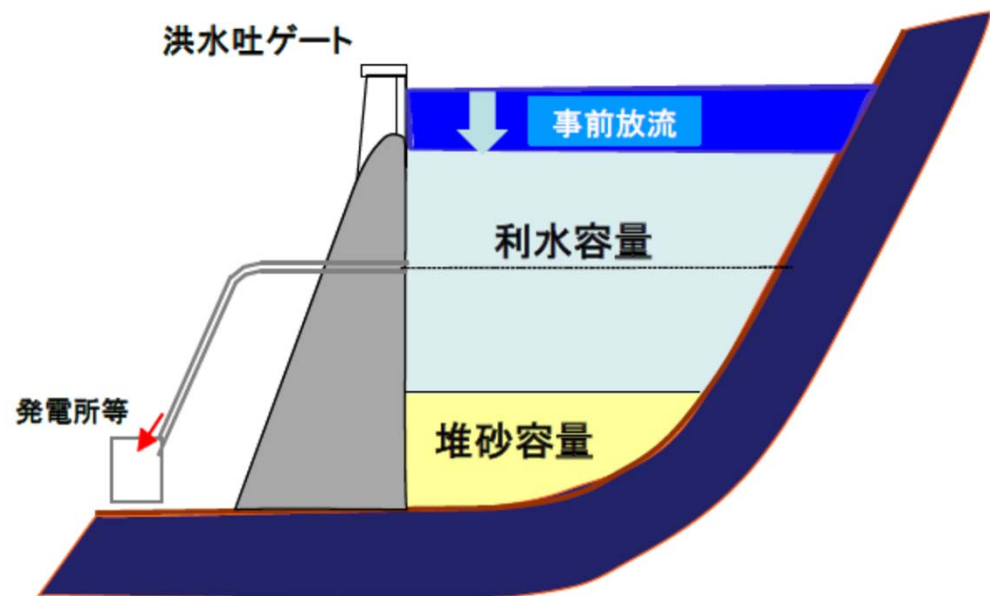
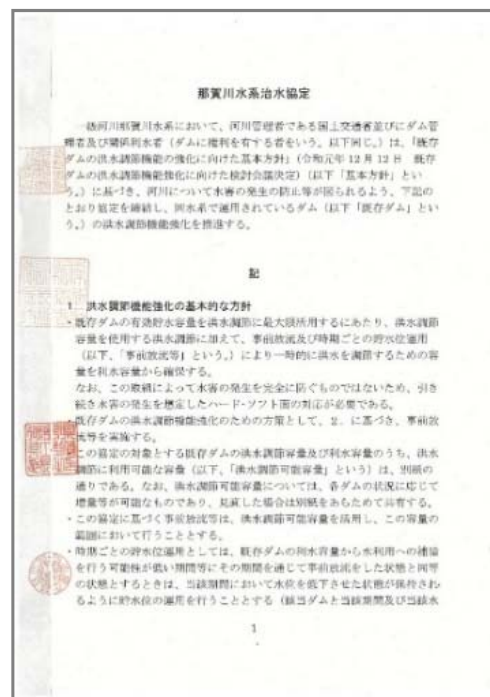


- 令和元年東日本台風(台風第19号)など近年頻発する洪水被害に対応するため、既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう全国で取組みを実施。
- 利水ダムは、台風や大雨が降ることが見込まれる場合に事前に利水容量を空け、洪水調節に使用。
- 河川管理者は、台風や大雨に関する全般気象情報が発表されたとき等に利水ダム管理者に事前放流を実施する態勢に入るよう伝達し、利水ダム管理者は予測降雨量を基に事前放流を実施するかを判断。
- 那賀川で利水容量を洪水調節に利用できるダムは、長安ロダム(国土交通省)、小見野々ダム(四国電力)、大美谷ダム(四国電力)、川口ダム(企業局)の4ダム。
- 利水容量を洪水調節に利用できるよう、令和2年5月27日に「那賀川水系治水協定」を締結。
- 令和2年台風第10号では事前放流を4ダムで実施し、予備放流による1,200万 m^3 に加え、事前放流により約1,253万 m^3 の洪水調節容量を確保。

利水ダムの事前放流のイメージ



那賀川水系治水協定



台風第10号での長安ロダムの事前放流



※4者(国土交通省 那賀川河川事務所長、企業局長 職務代理者 企業局副局長、徳島県 県土整備部長、四国電力(株) 再生可能エネルギー部長)で締結

令和2年9月6日 16:30時点 貯水位 EL.=214.7m (事前放流水位)